

入札仕様書

採血業務支援システム一式の賃貸借

令和8年6月2日

近江八幡市立総合医療センター

1. 調達の背景及び目的

多種類の採血管の中から検査の目的に適合した採血管を選択し、所定の位置にバーコードが記載された検体ラベルを貼付することは、煩雑であり、また時間を要する。本システムは病院情報システムと連動し、採血管の選択及び検体ラベルの貼付、並びに尿コップの検体ラベルの貼付を一括して自動的、迅速に行え、患者の整理番号を表示する装置を具備することにより、採血業務をより効率的に行うものである。当該システムを導入することにより、本院の採血業務等の省力化及び迅速化に寄与するものである。

2. 調達物品及び構成内訳

採血業務支援システム (構成内訳)	一式
1 自動採血管準備装置	1 式
2 採血業務支援システム 管理端末	1 式
3 採血業務支援システム付採血架台	5 式
4 電動昇降採血台	5 式
5 ハルンカップラベラー	1 式
6 整理券発行システム	1 式
7 患者誘導システム	1 式
8 受付コントローラー	1 式
9 採血チェア	5 式
10 放射線システムとの連携	1 式

3. 調達品に備えるべき技術的要件

本件調達物品にかかる性能、機能及び技術等の要求要件は次に示すとおりであり、本仕様書に定める各要件を満たさなければならない。

[性能・機能に関する要件]

採血業務支援システムに関しては、以下の要件を満たすこと。

1. 自動採血管準備装置に関しては以下の要件を満たすこと。
 - 1-1 当院が運用する医療情報システムから受信した採血管情報に従って、バーコードラベルが自動貼付された採血管・手貼用ラベル・採血管指示書を患者ごと、またはオーダーごとに1つのトレイに準備できること。
 - 1-2 処理能力が290人/時間以上であること。
 - 1-3 16種類以上の採血管にバーコードラベルが自動貼付できること。
 - 1-4 バーコードラベルは、患者情報、採血管情報が印字されること。
 - 1-5 バーコードラベル自動貼付機構に障害が発生した場合は、他ユニットを搬送して自動貼付できること。
 - 1-6 採血管の入替はキー操作の必要がなく、採血管ケースの入替で可能であること。
 - 1-7 バーコード付採血管に、再度バーコードを貼り付ける場合、ラベルを剥がすことなく、同位置にエッジを合わせ1mm以内の誤差で重ね貼りが可能であること。
 - 1-8 オプションでICチップ内臓のラベルに必要情報の書き込みができるRFID機能を有

していること。

- 1-9 採血管供給時に管種認識ができ、採血管の入れ間違いを防止できること。
- 1-10 採血管の管経・管長・キャップ色を判定し、異なる採血管の混在を検知できること。
- 1-11 ラベルの用紙セットは、セミオートローディング方式であり、半自動でラベルの交換が可能であること。
- 1-12 バーコードラベル印字プリンタが、カートリッジ化されており、トラブル時にカートリッジの交換作業のみで復旧可能であること。
- 1-13 手貼りラベル発行部のカッターユニットがカートリッジ化されており、トラブル時にカートリッジの交換作業のみで復旧可能であること。
- 1-14 最大 30 種類まで管種数を増設できること。
- 1-15 空トレイの積み重ね個数が、20 個以上であること。
- 1-16 発行済みトレイ平面待機個数が、4 個以上であること。
- 1-17 発行済みトレイの積み重ね個数が、20 個以上であること。

2.採血業務支援システム端末については以下の要件を満たすこと。

- 2-1 自動採血管準備装置及び採血業務支援システムを制御できること。
- 2-2 主記憶容量は 2G バイト以上、DVD-ROMドライブを内蔵、キーボード及びマウスを有すること。

3. 採血業務支援システム付採血架台については以下の要件を満たすこと。

- 3-1 採血架台には採血情報端末が付いており、12 インチのタッチパネルコンピューターを使用していること。
- 3-2 自動採血管準備装置から発行される採血指示書のバーコードを読取ることで、患者の採血整理番号を採血架台のモニターに表示でき、採血情報端末に採血情報が表示されること。
- 3-3 患者の採血整理券と採血指示書で患者呼出及び照合ができること。
- 3-4 採血担当者をバーコードにて確認登録でき、照合日時・採血担当者・患者番号・患者氏名及び照合結果をファイルとして記録できること。
- 3-5 採血架台には採血情報端末が付いており、12 インチのタッチパネルコンピューターを使用していること。
- 3-6 採血情報端末には患者の採血内容・採血コメントが表示されること。また、採血コメントの選択入力ができること。
- 3-7 採血情報端末で採血前チェック事項（食事有無・アルコール綿でのかぶれ・ワーファリン等の服用等）を順次表示確認できること。
- 3-8 採血情報端末で採血援助の要請ができること。また、その要請が他の採血台の情報端末で確認できること。
- 3-9 採血情報端末にて患者ごとの採血カルテの機能を搭載し、機能の一部としてピクトグラムを採用していること。
- 3-10 採血架台にパーティションが固定されていること。また、患者用の荷物棚及び杖立て

があること。

3-11 患者不在の場合は次の患者の呼出・採血ができ、再び不在患者の呼出ができること。

4.電動昇降採血台については以下の要件を満たすこと。

4-1 電動昇降機能を有していること。

4-2 天板が開閉式で、前後にスライドする機能を有すること。

5.ハルンカップラベラーについては以下の要件を満たすこと。

5-1 自動採血管準備装置と連動し、上位システムから送信されたオーダー情報に基づき、採尿カップを準備可能であること。

5-2 採尿カップを 80 個以上搭載できること。

5-3 処理能力はラベル1枚の場合、1カップ 6 秒以内であること。

5-4 オプションとして RFID 書き込み機能を有し、採尿カップのラベルに書き込み可能であること。

5-5 発行済み採尿カップを収納できるストッカーを有していること。

6.整理券発行システムについては以下の要件を満たすこと。

6-1 自動採血管準備装置と連動し、上位システムから送信されたオーダー情報に基づき、整理券の発行が可能であること。

6-2 整理番号照合用バーコードの印字が可能であること。

6-3 任意に設定できるコメントの印字が可能であること。

7.患者誘導システムについては以下の要件を満たすこと。

7-1 採血業務支援システムの 1 及び 3 と連動し患者呼び出しを行えること。

7-2 患者誘導システムを制御するための PC を有していること。

7-3 呼び出すディスプレイは 43 インチ以上で 1 カ所以上、設置すること。

8.受付コントローラーについては以下の要件を満たすこと。

8-1 12 インチのタッチパネルコンピューターを使用し、PC スタンドにて採血受付などに設置可能であること。

8-2 画面上で、採血状況や待ち人数が確認できること。

8-3 採血管の優先発行機能を有すること。

9.採血チェアについては以下の要件を満たすこと。

9-1 肘掛けを有すること。

9-2 キャスタータイプであり、患者が座ることでキャスターにロックが掛かること。

10.放射線システムとの連携については以下の要件を満たすこと。

10-1 放射線システムと連携し、放射線システムへ採血情報を送信可能であること。

[参考商品]

株式会社テクノメディカ社

自動採血管準備装置 BC・ROBO-9000RFID

採血業務支援システム Assistmore 管理 PC

採血業務支援システム Assistmore C-3LP+N

多可動式電動昇降採血台 UD-FS

ハルシカップラベラー HARN-810

整理券発行システム

患者誘導システム

受付コントローラー

採血チェア SCN-4

4. その他の要件

4-1 【基本事項】 調達物品には、納品後 1 年間の保証期間を設け、期間中は通常の使用に於いて発生した不具合に対して、無償の修理に対応すること。

4-2 保証期間終了後から、6 年間の保守契約を締結し、年 1 回の保守点検を実施すること。また、保守点検時に定期交換部品の交換を実施すること。

4-3 保守契約については、緊急修理時の技術工料・出向費用、定期交換部品を含めること。不定期交換部品は除外とすること。

4-4 納入後の機器の使用法に関する取り扱い説明及び導入時教育訓練は、担当技師と協議の上、日時・場所を決定し、実行すること。

4-5 入札機器は入札時点で製品化されていること。

5. 納入設置場所

滋賀県近江八幡市土田町 1379

近江八幡市立総合医療センター内 採血室

6. 納入期限

令和 8 年 1 1 月 3 0 日

*ただし、準備等が整えば期限より前の納品が可能な場合は、納品が完了した時点で賃貸借を開始する。

以上